

# 物流インフラ強靱化と地域レジリエンス強化に向けた佐川急便の取り組み



1.

佐川急便の概要

---

2.

リスク対応の考え方

---

3.

強靱化対策の活動内容

---

4.

直近の事例

---

5.

レジリエンス認証

---

# 1 佐川急便の概要

- 所在地 : (本社)京都市南区上鳥羽角田町68番地 (東京本社)東京都江東区新砂2丁目2番8号
- 創業 : 1957(昭和32)年3月
- 資本金 : 112億7,500万円
- 売上高 : 1兆450億円 <sup>(1)</sup> <sup>(3)</sup>
- 事業内容 : 宅配便事業を中心に、物流のトータルソリューションを提供



宅配便事業



物流効率化  
(館内物流)



物流効率化  
(モーダルシフト)



ロジスティクス  
(3PL)

自社保有車両台数  
約 **25,000** 台

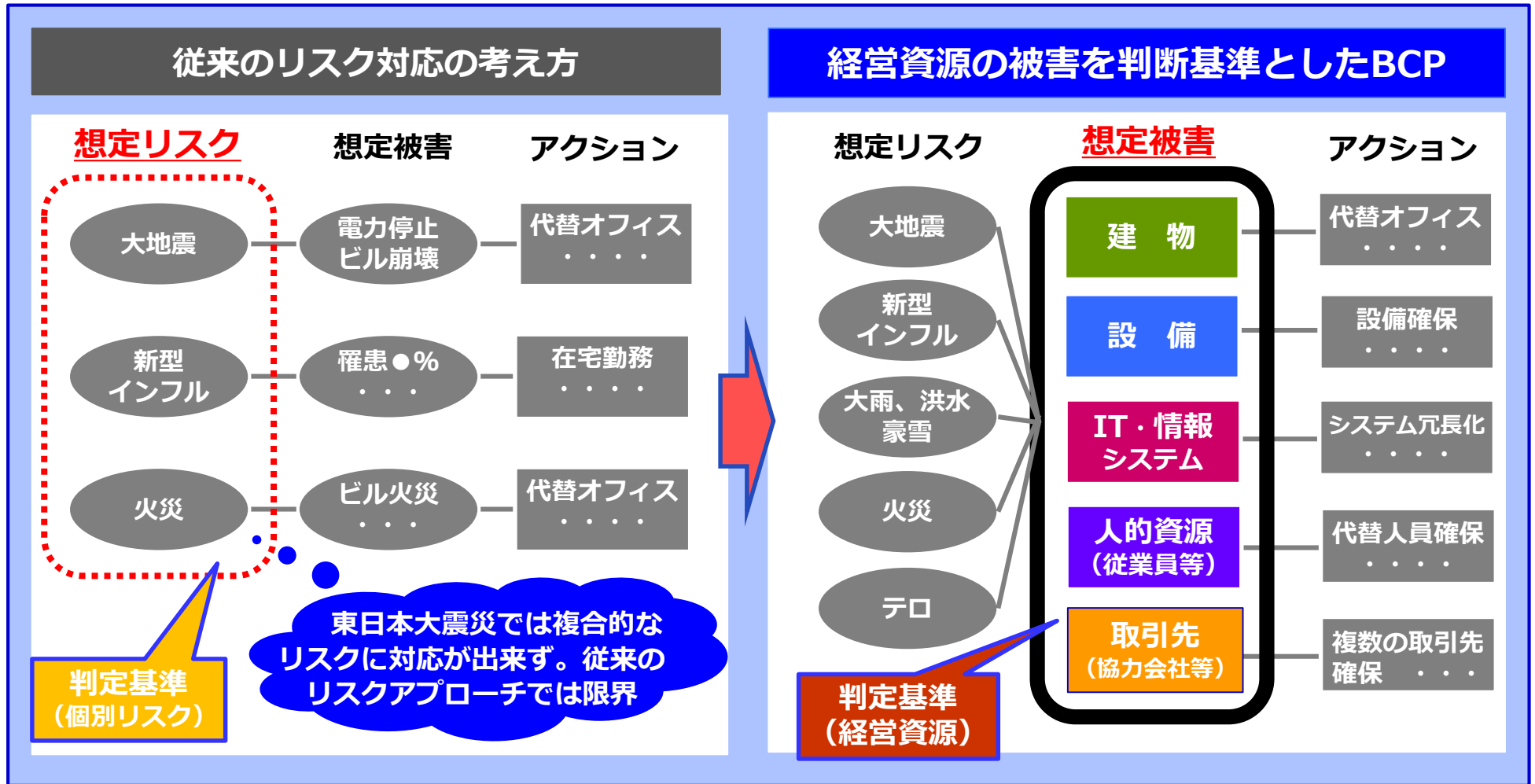
従業員数  
約 **51,000** 人

拠点数  
約 **850** 拠点 <sup>(2)</sup>

宅配便個数  
約 **13** 億個 <sup>(3)</sup>

注記 (1)2018年3月期SGHグループ連結の数値 (2)拠点数は営業所、サービスセンター等の合計 (3)売上高と宅配取扱個数は変則決算の影響を含んだ数値となります。

## 2 発生リスクに対応する佐川急便のBCP（事業継続計画）



想定リスクを基準とし、1対1で紐付けた個別の想定被害に対しアクションを検討  
⇒「想定外、複合的なリスク」に対して機能不全

経営資源（リソース）の被害状況を判断基準としてリスク対応  
⇒発生リスクに対し被害状況に応じた対応が可能

### 3 物流インフラ強靱化対策（災害等における連携訓練の実施）

災害対策本部・運営訓練



外部企業・自治体等との合同訓練



陸上自衛隊・自治体との合同訓練

(国土交通省・さいたま市)



新型インフルエンザ訓練



津波対策訓練



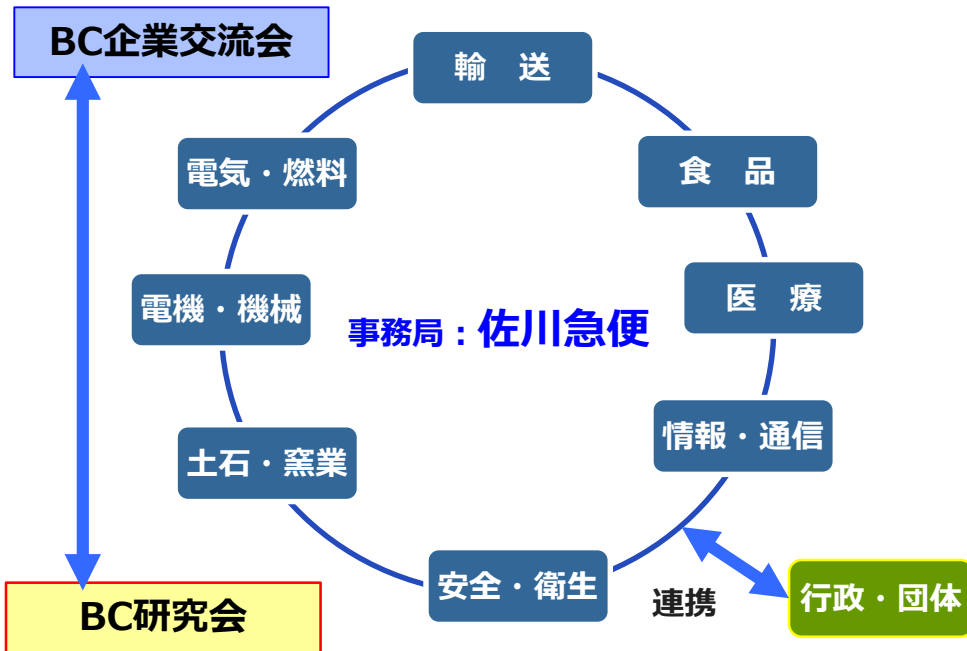
テロ対策合同訓練

(警視庁)



### 3 B C (事業継続) 企業連携の推進

災害時のサプライチェーンの維持、早期復旧に向けて、平時から異業種企業間の連携（情報共有、ビジネス促進）を推進



BC企業交流会

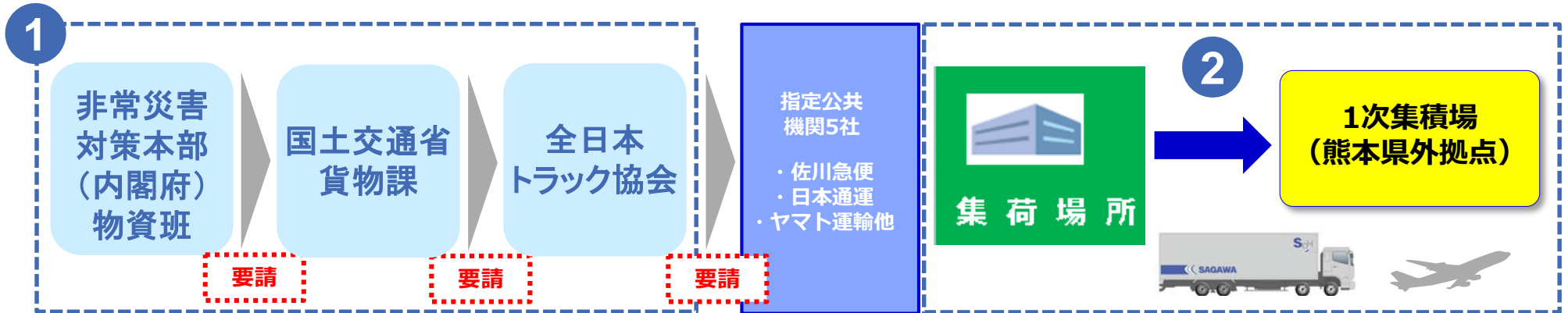


## 4 熊本地震における佐川急便の災害物流

① 政府の非常災害対策本部からの要請

② 緊急支援物資（全国→被災地）プッシュ型輸送

→政府の指示に基づき、陸送・空輸など輸送機関を総動員して集積所まで輸送



③ 緊急支援物資（2次集積所 → 避難所）プッシュ型輸送+プル型の配送

→熊本市などの要請で、集積所のロジ・避難所への配送（御用聞き含む）



支援期間（2016年4月～9月）

※総人数 1,208人

※総車両数 1,137台

## 4 九州北部豪雨／朝倉市における総合的な災害物流支援(先駆的事例)

※朝倉市の要請に対応するため、災害物流として、初めて一体的な物流支援を実施  
物資及び拠点の管理、コールセンター、輸配送、物資調達などトータルで支援





## 5 レジリエンス認証

国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）制度において、レジリエンス認証を取得  
**（運輸業・郵便業では、佐川急便が第1号認証）**

さらに、ジャパン・レジリエンス・アワードにおいて、2年連続で最優秀レジリエンス賞を受賞

### レジリエンス認証・登録証



### ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2017

- 最優秀レジリエンス賞（エネルギー分野）  
**「輸送用燃料・利用エネルギーの多様化による物流インフラ  
 強靱化対策」**

### ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2018

- 最優秀レジリエンス賞（国土保全・情報分野）  
**「地域レジリエンス強化に向けた物流インフラ・地域間  
 連携モデル」**





# SAGAWA